

平成26年度坂井輪地区公民館第3回坂井輪地区公民館運営審議会会議概要

実施年月日	平成27年3月17日(火) 午後2時～3時30分		
会場	西区役所 3階303会議室	出席委員	12名
		傍聴人	0名
出席者	委員	伊藤智之、伊藤浩美、菊池三男、郷扶二子、佐藤克子、高木裕、高橋真規子、田村ユキ枝、土田幸子、鳴海丈支、土屋浩、横坂幸子	
	事務局	坂井輪地区公民館	山田久美子、渡辺郁夫
		西地区公民館	前田和隆、南部浩美
		黒埼地区公民館	鳴海俊明、小竹憲幸
		小針青山公民館	大科俊夫、渡邊ますみ
議題	1 平成26年度西地区公民館事業中間報告(2月末現在)及び平成27年度事業計画(案)		
審議内容について以下に記載する。			
山田坂井輪地区公民館長あいさつ、郷議長あいさつに続き審議に入る。			
坂井輪地区公民館 山田館長	平成26年度西区公民館事業報告(2月末現在)及び平成27年度事業計画(案)について、資料1-1に基づき説明。		
横坂委員	幼児期家庭教育学級で、1歳児、2歳児というようにこまめに考えて実施している。発達の差とかでお母さんが悩む時期なので、すごくいいと思う。		
山田館長	坂井輪地区公民館は子育て支援グループがたくさんあるので、こまめな指導や学習機会の設定ができる。		
高橋委員	子育て支援グループの一員として家庭教育学級に参加している。西区には親子で受け入れる子育て支援施設はたくさんあるが、公民館では、遊びの中で後片付けをする、一緒におやつを食べるなど、学びの場になるように配慮している。		
菊池委員	LINEなどの問題が盛んに報道されているが、児童期や思春期の教育も公民館で取り組めないか。		
山田館長	携帯やスマホの安全な利用ということで、各社が無料で指導に出向いている。そういった機会を利用し、子どもだけでなくシニア世代も対象にした情報学習の機会を提供できないか検討している。		
伊藤(浩)委員	青少年の居場所づくり事業が坂井輪ではとても活発だ。音楽室の開放は子どもたちの練習に使っているのか。		
山田館長	改修工事の際、1階に音楽室を作った。青少年の居場所の一環として午後3時30分から7時までの枠を公民館で押さえ、子どもたちのバンド練習に開放している。団体登録をし、きちんと利用の予約をしてもらい、ルールを守って利用してもらっている。		

西地区公民館 前田館長	平成26年度西区公民館事業報告（2月末現在）及び平成27年度事業計画（案）について、資料1-2に基づき説明。
黒埼地区公民館 鳴海館長	平成26年度西区公民館事業報告（2月末現在）及び平成27年度事業計画（案）について、資料1-3に基づき説明。
小針青山公民館 大科館長	平成26年度西区公民館事業報告（2月末現在）及び平成27年度事業計画（案）について、資料1-4に基づき説明。
横坂委員	<p>No8の思春期家庭教育学級だが、小針青山公民館は小針中学校という大きな中学校を抱えている地域だし、5小1中という特殊性もあるので、人数は増えると思う。小学校にもチラシを配布し、中学校入学前に親たちが顔を合わせる機会があってもいい。</p> <p>乳幼児期家庭教育学級だが、小針青山公民館ができたときから、自主保育のすくすくをお母さんたちのサークルが運営していることも報告する。</p>
伊藤(智)委員	地域とパートナーシップ事業で今年度実施しなくて、来年度実施するという話があったが、具体的な方向性はあるのか。
大科館長	どういった形がいいかといったところからスタートしたところだ。
伊藤(智)委員	地域教育コーディネーターは学校ごとに配置されているが、学校や地域の環境が違うので、皆さんが集まり一つの事業をするのは非常に大変かと危惧している。
大科館長	個々の小学校で実施する方法と、中学校区で実施する方法があるが、各学校のコーディネーター、先生方とは話し合いが必要かと思う。
郷議長	今年度から各公民館に学・社・民融合支援主事が配置され地域教育コーディネーターと連携しパートナーシップ事業をやっていくという方向がでた。各公民館、各学校でいろいろな実情があるが、無理のない範囲で地域教育コーディネーターと公民館の連携事業ということで実施できたらいいと思う。
伊藤(智)委員	文化祭の取扱いだが、1館だけは「地域コミュニティ」に分類され、他は「現代的課題を探る」という分類になっている。バーの高さや期待するレベルといったものがあるのか。
山田館長	公民館という施設を使った団体活動は、学びの成果を地域に還元するという大きな期待をされている。文化祭というものが、まさにその機会であるところらえ、現代的課題にいれている。この分類についてはいろんな考えがあり、地域コミュニティにいれているところもあれば、その他に分類しているなど、それぞれの館の考え方が反映されている。
伊藤(智)委員	協議会として、いっそう活動をがんばっていきたい。
審議終了	

